

## JENESYS2015（派遣プログラム） （シンガポール／大学生・大学院生）の記録

### 1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、シンガポールへ大学生・大学院生 23 名が派遣され、日本の政治、社会、歴史及び文化に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1月12日から1月20日までの8泊9日の日程でプログラムを実施しました。

### 2. 参加大学・大学院、人数

お茶の水女子大学 5 名、金沢大学 5 名、徳島大学 5 名、福岡教育大学 5 名  
金沢大学大学院 1 名、一橋大学大学院 2 名

### 3. 訪問地

シンガポール共和国

### 4. 日程

- 1月12日（火） 出発前オリエンテーション、成田国際空港より出国、シンガポール着
- 1月13日（水） 【訪問】日本国大使館、JETRO シンガポール  
【視察・交流】マリーナバレージ、シンガポール日本人会
- 1月14日（木） 【視察】キッコーマン工場、旧フォード工場戦争記念館  
【学校交流①】シンガポールポリテクニク (Singapore Polytechnic)
- 1月15日（金） 【学校交流②】南洋理工大学 (Nanyang Technological University )  
南洋ポリテクニク (Nanyang Polytechnic )
- 1月16日（土） 【ホームステイ】
- 1月17日（日） 【ホームステイ】
- 1月18日（月） 【視察】シンガポール国立博物館、アラブストリート  
リトルインディア、チャイナタウン
- 1月19日（火） ワークショップ(報告会準備)  
報告会、歓送会、シンガポール出国
- 1月20日（水） 羽田国際空港着

5. JENESYS2015 派遣プログラム記録写真 (派遣国：シンガポール)



1/12 在シンガポール日本国大使館表敬



1/14 学校交流①シンガポールポリテクニクの学生と高齢者施設 St. Joseph Home 訪問



1/15 学校交流② (南洋理工大学)



1/15 学校交流③ (南洋ポリテクニク)



1/16, 17 ホームステイ (ホストファミリー)



1/19 報告会

## 6. 参加者の感想

### ◆ 学校名：福岡教育大学

今回のプロジェクトを通して、最も印象に残ったことは、シンガポールは未来志向が強いということです。私は訪問前にシンガポールと日本の関係について調べました。その時に、日本はシンガポールを植民地にし、虐殺したり、強制的に日本語を学ばせたり、ひどいことをしていたことを知りました。そのため、シンガポールの人々は日本のことを良く思っていないのではないかと疑問に思っていました。日本大使館でのお話の中で、シンガポールは未来志向型であり、これから国を豊かにするためにも、日本と仲良くしていきたいと思っていることを知りました。

日本は現在、様々な国と関係を持ち、助け合って生きています。これからも良い関係を築いていくためにも、相手国のことについて知り、伝えていくことは大変重要だと考えます。私は将来、教員になることを目標としています。教員になったら、これからの日本の未来を担う子ども達に、私の経験したことを伝えて、国際交流の大切さ、日本の魅力、外国の魅力について考えていくことができるような子どもを育てていきたいと思えます。

### ◆ 学校名：一橋大学大学院

アニメ・漫画・アイドルなど日本のポップカルチャーの認知度の高さが最も印象に残りました。理由は三つあります。

第一に、アニメ等の日本のポップカルチャーを共通の話題としてコミュニケーションが円滑になったためです。例えば、「〇〇というアニメは知っているか？」と質問され、そこから会話が弾むという経験を何度もしました。

第二に、日本のポップカルチャーをきっかけに日本に興味を持つ人がシンガポールに、実感値ではありませんが、多くいたためです。例えば、日本の漫画が好きで、漫画を読んでいるうちに日本語を覚えてしまったという人もいました。

第三に、アニメ・漫画・アイドル等は、若い世代をターゲットとするためです。今後、シンガポールを担っていく人材にアニメ・漫画・アイドルはリーチし、彼らに日本に対する興味を抱かせ、最終的には親日になってくれることは少なくないと感じました。

以上のように「アニメ・漫画・アイドル」等の日本のポップカルチャーは、次世代を担う外国人を親日派にするのに有用であると感じたため、印象に残りました。

### ◆ 学校名：徳島大学

今回の JENESYS2015 シンガポール派遣を通して、様々なシンガポールの側面を肌で感じることができました。中でも印象に残っているのは、Old Ford Factory でシンガポールへの日本の占領について学んだことです。旧日本軍がシンガポールを 3 年間植民地としていた時のことをたくさん知ることができました。日本ではなかなか見ることのできないその時代の写真や物を見て、大きな衝撃を受けました。決して忘れてはいけない事実だと感じたのと同時に、シンガポールと日本は今前を向いて共に歩んでいると感じました。日本人は自分も含め、今よりさらにアジアの地域の歴史や文化について、触れて感じて知るべきだと思いました。

未来志向的な考え方を持つシンガポール国民にとって、バイリンガルであることはあらゆるところでプラスに働いていると感じました。公用語に英語を持ち、あらゆる人種の人々が混ざっている中で、独自の文化を尊重しているところは日本も学ぶべきところがあるのかなと思いました。アジアを代表する2カ国として、日本もグローバルランゲージである英語のレベルをさらに引き上げるべきだと実感しました。何かさらに良い方向に少しでも力を加えることで、さらに良い人材が育ち、アジア、世界の先頭に立つことができる国になるのかなと感じます。

2回目のシンガポール訪問となりましたが、観光の時とは異なる側面をたくさん見ることができました。また一つ、新たな経験ができ、視野が広がったように感じます。

## 7. 参加者の帰国後の発信内容

 <p><b>FUTURE THINKING</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Innovative</li> <li>• Empower talent of Singaporean</li> <li>• Gap between life and economic growth</li> </ul>	 <p><b>Irassyaimase</b> ㊦. <b>Hello・Welcome</b></p> <p><b>Arigatougozaimasu</b> Thank you!!</p>
<p>気づき：未来志向のシンガポール</p>	<p>気づき：おもてなしの心が強い日本</p>
<p><b>CONCLUSION</b></p> <p>SINGAPORE "SPEEDY"</p> <p>JAPAN "OMOTENASHI"</p> <p>MIX</p> <p>Singapore will be more popular country.</p>	 <p><b>ACTION PLAN</b></p> <p>◆We'll <b>blog!</b> --- for Singaporean Japanese pop culture, especially Anime</p> <p>◆We'll show <b>panel display!</b> --- for Japanese</p> <p>Goal → Attract Japanese positive interests in Singapore. Arouse multilateral perspectives for the country. (Not only the image as tourism spot)</p>
<p>両国の良さをミックスしより良い国へ</p>	<p>アクションプラン： ブログ掲載とパネル展示の2タイプで実施</p>
 <p><b>HOW DO WE DO THAT?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• We blog.</li> </ul>	 <p><b>BACKGROUND</b></p> <p>◆Why panel display? --- the advantages</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Easy to understand with images</li> <li>• Easy to retain and report</li> </ul>
<p>アクションプラン： 世界中誰でも閲覧可能なブログ上で継続発信</p>	<p>アクションプラン： 大学内でパネル展示を実施</p>